

■事業所・サービス紹介

友朋会では、理念「健やかでその人らしい生活の創造」のもと、利用者の皆様、ご家族、地域へ障がい福祉サービスを通じて寄り添い、貢献していきたくと考えています。この理念を達成する為、当法人では「コンプライアンス（法律順守）の徹底」、「人権の尊重」、「家族・社会との連携」、「地域移行の推進」の4つの運営方針を定め、日々の支援に取り組んでいます。



障がい者支援施設サニーサイド

- 【提供サービス】
- ・施設入所
 - ・生活介護
 - ・短期入所
 - ・日中一時支援



サニーサイドワークセンター

- 【提供サービス】
- ・就労継続支援B型
 - ・計画相談支援
 - ・障害児相談支援



アトリエSUN

- 【提供サービス】
- ・生活介護
- 障がい者支援施設サニーサイドの別館となります。アール・ブリュット活動やはたらく生活介護等、新たな活動の場となっています。



共同生活援助事業所
サニーサイド

- 【提供サービス】
- ・共同生活援助
- 男性棟2棟、女性棟2棟



■地域公益事業・・・友朋会では、以下の地域における公益的な取り組みを展開しています。

- ・生計困難者レスキュー事業
- ・サニーサイド地域福祉相談室
- ・一人住まいの高齢者訪問事業

社会福祉法人友朋会
障がい者支援施設サニーサイド
〒861-1213
熊本県菊池市漕水町南田島1794
TEL 0968-38-4448
FAX 0968-38-2850
MAIL info@sunny-side.or.jp
URL https://sunny-side.or.jp



ホームページ

haleta -ハレタ-

2022年 初夏号
社会福祉法人 友朋会
障がい者支援施設
サニーサイド

Vol.10



〈新年度の挨拶〉
新たなスタートを迎えて
〈支援の実践報告〉
運動量確保への取り組み

〈温故創新〉
今年度の事業計画について
〈その他〉
新規利用者&新人職員のご紹介



新たなスタートを迎えて



年度始めのご挨拶

新年度がスタートしましたが、当分はコロナウイルスと共生していくほかないようです。サニーサイドでは今年4月、毎週職員に実施しているコロナウイルスの抗原検査で1人の陽性が判明、次の日にもう一人、併せて2名の陽性が判明しました。職員2人はすぐに産業医で七城町の古田医院と菊池郡市医師会立病院でPCR検査の結果、陽性と判明、自宅待機などの処置を行いました。同時に施設では利用者にもその日から自室で過ごしていただくとともに、通所事業の一時中止や全館消毒などの処置をおこないました。幸いその後、職員・利用者にもコロナウイルスが発症することなく、10日程度で通常の生活に戻すことができました。

県内でクラスターが発生した福祉施設によると、利用者にも感染し、終息まで数カ月かかった話を聞きます。今回、感染が水際で防止できたことは不幸中の幸いでした。感染防止のため抗原検査キットを提供していただいた熊本県、感染対策の指導を受けた古田医院には感謝しかありません。

今年秋までに国産ワクチンと飲み薬が認可されるようです。そこまではなんとか乗り越えていきたいと思っています。また、引き続き、面会や外出、帰省などは制限を継続しますのでご家族の皆様のご協力をお願いします。さて今年、法人事務局を新たに建設しました。ここにはギャラリーが併設されており、現在サニーサイドのオール・プリュットパートナーズ熊本登録作家7名の新作を展示しています。意欲作が続きと完成しており、きっとお楽しみいただけると思います。ここでは入館制限はありませんので、お近くにおいでの際はぜひお立ち寄りください。

理事長 衛藤博



▲今年も綺麗な花が咲きました



▲職員への年度始めの挨拶の様子

法人機能の拠点が完成！！

法人本部・事務局の設置や新型コロナウイルス感染症対策、地域交流の拠点として昨年8月中旬より建設工事を行っていた新棟が2022年3月末に竣工しました。4月より、本格的に運用を開始しています。今回は新棟のイチ押しポイントをご紹介します。絵画展示も行っておりますので皆様見学にいらしてください。お待ちしております。



▲玄関はスロータイプになっており、雨天時に利用できるカーポートを準備しています。



▲エントランスはフラットな作りでエレベーターも完備し、どなたでも利用しやすくなっています。



▲地域の方との交流スペース兼常設絵画展示のギャラリースペースも設けています。



▲事務所もサニーサイド本体から管理棟に移動しています。



▲最大30名が利用できる会議室もあり、会議や研修等で利用しています。



▲非常災害時に必要な電力を車中（PHV車）より供給可能な設備を完備しています。

事業計画について

『温故創新』

サニーサイドでは2022年度の事業方針として3つの方針を立てています。一つ目は障がい者の社会参加を促進するオール・プリュット活動の推進、二つ目は、専門性を基盤とするサービスの質の向上、そして三つ目は生産性・効率性を高めるための組織力の強化です。これらの実践には人材なくして成り立ちませんが、その人材自体が不足する未来が見えつつあるのは存じてでしょうか。

その未来は「2025年問題」と言われています。私が最初にこの言葉を聞いたのは、もう7～8年前のことです。これは、3年後の2025年に団塊の世代が後期高齢者になることにより、国民の4人に1人である約2200万人が75歳以上となる超高齢化社会の訪れのことです。

この世界で類を見ない現象により、多くの問題が起きることが予測されています。特に介護や医療、社会保障関連の分野で人手不足や費用の急増などが顕在化し、それらは日本の社会制度自体に影響を与えることとなります。

厚生労働省は2025年には介護職員が約34万人不足するとの推計を発表しています。国は、現在も資格制度の見直しや外国人労働者を増やすなどさまざまな人材確保策を行っていますが、それでも人材不足を補う目途は立っていないのが現状であり、新型コロナウイルスの影響によってその対応も鈍化しています。

辛いことに、現時点ではサニーサイドでは深刻な人材不足には直面していません。しかし、これらの問題は決して対岸の火事ではなく本当の懸念は人材不足とその後にくる予測できない様々な問題であると思っています。

温故創新とは、古きを訪ね新しきを「創る」という意味です。2007年、当時の福田康夫内閣総理大臣が、中国訪問の際に揮毫したことで知られている言葉です。

この新しきを創るという言葉は、法人の理念である「健やかでその人らしい生活の創造」と重なります。予測できない問題に直面しても、諦めずに問題解決の糸口を探し続ける、考えながら常に工夫し、実践を続ける力を持つ人材を確保し、育成することが質の向上や社会への貢献につながると考えています。

今後はこれまで以上に業務の選択や集中、より柔軟な対応等が必要になるかもしれません。時代の流れのなかでは「創」はやや不恰好で歪んで見えるかもしれませんが、いち早く変化に対応し続けて、いい支援を届けていきたいと思っています。

(施設長 宮崎朝大)



3月、4月に3名の職員が入職しました



他の利用者の方がオールプリュットの登録作家に選ばれたことに影響を受け、絵画に勤しまれる様子



ケース検討会を毎月実施し、利用者の方の支援について意見を出し合います



介護福祉士実務者研修のオンライン講座を受講する職員



エルダー制度を導入しており、年の近い先輩職員が新人職員の業務の悩み事や質問に答えます

4/1 春の会

利用者の皆様に向けた年度始めの催しとして春の会を開催しました。春の会は、対象年度の事業計画の説明、個別支援計画の説明が目的となっています。どちらも利用者の方が理解しやすいように文書化したものや職員が具体的な内容を伝えています。また、3月末には、ひまわりホールの家具が新調され、利用者の皆様はワクワクしている様子でした。



新年度の挨拶をする施設長の宮崎



ホールの椅子と机が新しくなりました



事業計画の説明を真剣に聞いてもらっていました



個別支援計画について説明する様子

支援の実践報告 ～運動量確保への取り組み～

今年度より利用者の方の運動量を増やすことを目的として、サーキット形式の室内ウォーキングを開始しました。今回は作業療法士の資格を持った職員がメニューを考案し、健康維持に必要な筋力を楽しみながら身につけられるものになっています。今後、梅雨や夏の猛暑などが控えており、屋内での運動量確保が重要と考えています。



手すりに掴まって片足立ち、バランスが重要です



障害物をまたぎ対象物との距離も測ります



メニューを全てこなし、カードにスタンプします



気候のいい日は外でウォーキングを実施します

アール・ブリュット活動について

利用者の自立支援事業の1つとして推進してきた「アール・ブリュット事業」ですが、2021年度もコロナと闘いながら様々なことに取り組むことができましたので、そのご報告と今後の展望についてお話ししたいと思います。

初めに、この事業の柱であるレンタルアートについてです。昨年度は新規の契約を3件結ぶことができ、新規の絵画点数9点、合計28点の作品をレンタルしています。コロナの影響で社会においても大きな変化がある中で、利用者の描く作品に魅力を感じた方、また福祉とアート活動を理解して下さった方々に作品をレンタルしていただいたことを、大変嬉しく思っています。

次に絵画展の開催と出展についてです。昨年度は菊池市立図書館での展示のほか、初めてサニーサイド利用者の作品のみを展示した「サニーサイドの画家たち展」を開催しました。お菓子の香梅店舗内に併設されている展示会場「ドゥ・アート・スペース」を利用しての4日間の開催でしたが、ご好評をいただき、より長い期間の開催に向けた手ごたえを得ることができました。今年度は7月中旬に2週間の開催を予定していますので、開催時期が近まりましたらお知らせいたします。絵画展への出展は、熊本県立美術館本館で毎年開催されている「生の芸術 ArtBrut展覧会」が昨年度は2月に開催され、4名の利用者の作品が選出され展示されました。会場が広くなったこともあり、サニーサイド利用者4名で例年の5倍近い約50点もの作品が盛大に並べられ、たくさんのお客様に鑑賞を楽しんでいただくことができたと思います。

世界から5000名もの作家が集まる「日本財団DIVERSITY IN THE ARTS」では平山由美様の作品が見事入選を果たし、ご本人も大変喜ばれていました。今年度は新たな絵画展への出展と作品展の開催も計画していますので、今後のご案内を楽しみにお待ちしております。

最後に、2022年度は地域の皆様とアートを通じた交流ができるように計画しております。コロナで先行き不透明な毎日ですが、日々サービスを進化させていけるような色々なことに挑戦していきたいと思っております！

(主任 大森 天登武)



菊池市立図書館での展示



菊池市立図書館様との打ち合わせ



お菓子の香梅 光の森店での作品展



昨年度の「日本財団DIVERSITY IN THE ARTS」で佳作に選出された平山由美様の絵画作品「ピンと缶」はサニーサイド管理棟の地域交流室に展示されています



お洒落なカフェにも作家さんの絵が飾られています



ユナイテッドトヨタ熊本の絵画展示スペース

☀️サニーサイドへようこそ☀️

新たにサニーサイドを利用されます皆様をご紹介します。みなさんどうぞよろしくお願いいたします。



堤 良太 (つづみりょうた) 様

2022年3月より就労継続支援B型、共同生活援助を利用されています。



山下 幸心 (やました こうしん) 様

2022年4月より就労継続支援B型、共同生活援助を利用されています。



佐藤 心悟 (さとう しんご) 様

2022年4月より就労継続支援B型を利用されています。



益田 泰征 (ますだ たいせい) 様

2022年4月より生活介護、施設入所を利用されています。

支援力を高めるために

昨年度より、サービスの質の向上を目指し、ケース検討会を強化しています。これは、全利用者の方を対象に、利用者のアセスメント及び支援方法の検討を行うものです。職員全体で支援の意識や効率的な支援の情報共有を行ない、支援の底上げを目指しています。

昨年11月より実施し、延べ18名(2022年4月現在)の方のケース検討を行いました。また、熊本学園大学准教授の今吉氏にスーパーバイザーとして参加して頂き、助言や指導も頂いています。

ケース検討を実施して感じたことは、利用者の方一人ひとりが生きてきた歴史があり、どんな人生を歩んできて、どんな環境で暮らしてきたのかを確認することで、現在の支援に活かすことが出来るのではないかと思います。ご本人様のことを知り、ご本人様の強みを活かすことで、当法人の理念でもある「健やかにその人らしい生活の創造」ができるよう支援を実施していきたいと思えます。(係長 永田 精一郎)



4月に実施したケース検討会の様子



発表者はモニターに情報を映し、職員間で情報を共有する。

新職員紹介

これからよろしくお願いいたします！

①名前 ②出身大学 ③職種 ④趣味 ⑤一言



①齊田 璃乃 (さいだ りの)

②熊本学園大学
③生活支援員
④お菓子作り、写真撮影
⑤支援員として、私自身ができることを精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



①中村 元貴 (なかむら げんき)

②キャリア採用
③生活支援員
④サッカー観戦、ライブ観戦
⑤一日でも早く仕事を覚えたいと思っています。よろしくお願いいたします。



①大森晴稀 (おおもり はるき)

②キャリア採用
③管理栄養士
④カラオケ
⑤みなさんを栄養の面から支えられればと思います。よろしくお願いいたします。

資格取得者紹介と永年勤続表彰

■資格取得者紹介

2021年度は5名の職員が資格試験を突破しました。今後もより専門性のある支援を利用者の皆様に提供してまいります。



写真左から
社会福祉士
福祉住環境コーディネーター2級
公認心理師
介護福祉士
介護福祉士

係長 永田 精一郎
係長 前田 奈緒美
主任 渡辺 真由美
主任 小北 京佑
副主任 田上 大智

■永年勤続表彰

長年にわたり業務に従事した職員に永年勤続表彰を行いました。

施設長 宮崎 剛大 (勤続20年)
係長 河野 敏道 (勤続10年)



代表で係長の河野が表彰しました

食事を楽しんで頂く想い

利用者の皆様の楽しみの一つである食事について、当施設では管理栄養士を中心とした栄養管理委員会を毎月しています。その一つの役割としてイベント食の提供を行っています。利用者自治会での意見を取り入れつつ、イベントに合った食事を提供しています。味はもちろん、食材の彩りに加え、提供する食器にも注目し、その時の雰囲気にも合わせたものを準備しています。今回はそんなイベント食の一部をご紹介します。



お正月 (おせち)



節分 (患方巻き)



七夕 (そうめん)



敬老の日 (天ぷら、おすし)



ハロウィン (かぼちゃプリン)



クリスマス (フライドチキン)

スケジュール&お知らせ

□年度内のイベント予定

6月 レクリエーション大会

7月 七夕会、土用の丑の日

8月 納涼祭

9月 敬老会、お月見会

※今年度も新型コロナウイルス感染症対策として施設内イベントとして実施致します。

■作品展のお知らせ～サニーサイドの画家たち～

下記の日程で作品展を開催致します。是非、足をお運びください。

日時：2022年7月8日(金)～7月21日(木)

場所：お菓子の善権 徳山店

主催：社会福祉法人 友朋会

内容：サニーサイド利用者の方の絵画作品20点程度を展示

お知らせ

新しい公用車として、TOYOTAの新型NOAHが4月に納車されました。利用者の方も使用しやすいように後部座席にステップが装備されています。



～編集後記～

—新たな気持ちと感謝—

皆さんこんにちは。2022年度最初の広報誌haletaはいかがでしたか。今回は、新しい出来事や人物が多く入った内容になっています。私自身も4月より事務局に席を移し、業務にあたっています。事務局には利用者の方の素敵な絵画が展示されており、朗らかな気持ちにさせてくれます。新たなスタートとして、私事ですがサニーサイドで働き始めて10年の節目を迎えております。3月、4月に利用者の方の新規利用や新職員が入職し、自身の10年前のことを思い出しています。

実際に思い出してみると失敗したことがばかりが思い浮かび、先輩職員に助けてもらったことが印象に残っています。利用者ご家族の皆様や関係者の皆様には温かく、受け入れて頂き、感謝しております。まだまだ若手職員に負けられないように元気、笑顔で皆様をお迎えします。

長くなりましたが、今年度、サニーサイド広報委員会としてhaletaの発行やホームページでのブログ発信を行います。コロナ禍においても利用者の方や施設の様子が変わり、より施設内の雰囲気が伝わるように委員一同頑張ってまいりますので、よろしくお願いいたします。

(係長 河野 敏道)

